令和４年度　上田市立城下小学校　学校自己評価シート

○　評価基準　Ａ…達成できた　　Ｂ…おおむね達成できた　　Ｃ…やや達成できなかった　　Ｄ…達成できなかった

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）		
まなび きたえ ともにのびる子 一人一人が 輝く城下小学校	・自ら求めて学び合う子ども ・明るくたくましい子ども ・友や地域と温かく関わる子ども		
	今年度の重点目標	「関わる力の育成」：一歩踏み出して、自分から関わる 「＋１」の力の育成：「言われたこと」から「自分で考えたこと」へ 「ＩＣＴの有効な活用」	
	１	「城下小学び合い」の推進による「主体的・対話的で深い学び」への授業改善	
	２	活動に対して、自ら考え、自ら動き、自ら表現できる「＋１」の活動ができるたくましさの育成	
	３	地域の人々・自然・歴史・文化等から学ぶ「探究的」な教科学習や生活科・総合的な学習の実施	

総合評価				
Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	成果と課題

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	教育課程・学習指導	心の通じ合いを重視した指導の推進	協力して活動する場や互いの良さを認め合える場を設定しながら行事，学級経営，学習指導を進めることができたか。
		授業のユニバーサルデザイン化	どの子にもわかる・できる授業づくり、確かな学力が身についていく授業づくりができたか。
		学び合いを大事にし、考えを交流する場の設定	国語の読解力、算数の思考力の向上を目指し追究の場でわからないことを聞き合いお互いの考えを伝え合う学習活動を設定しているか。
		家庭学習の充実	家庭学習の手引きを活用し，日頃の学習指導と連携させて家庭学習の習慣化がはかれたか。
	生徒指導	明るい挨拶や返事の励行	進んで行う挨拶や気持ちよい返事を繰り返し指導し、児童会を中心に実践することで、子ども達に広がっていったか。
		生活規範意識の育成 （基本的な生活のルールの確立）	集団生活のきまりや約束に関する日常的な指導を進めたか。（遊びの約束事の徹底、安全な廊下歩行、授業を受けるルールの指導、無言清掃の取り組みに向けた指導等） 規則正しい生活習慣が身についてきたか。
		いじめ・不登校を未然に防ぐ取り組み （温かな人間関係）	自他の良さを認める場の設定や日常的な人権同和教育、自己有用感を高める教育活動を行うことができたか。 子ども達の様子に目を配り、友達関係や実態をつかみ，きめ細やかな保護者との連絡を心がけることができたか。
学校運営	地域との連携	学社融合 地域の方々との交流	地域の方々と連携して，地域のものや人と関わり探究的な活動や交流ができたか。
		保護者との連携	参観、行事、懇談、環境整備等、保護者の方々の理解や協力を得ながら教育活動を展開しているか。
		学校からの情報発信	学校，学年，学級だより，学校ホームページを通して情報をタイムリーに発信できたか。
	研修	授業づくり研修	一人一公開授業を通して，自らの課題に向けて授業改善を進められたか。

Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	成果と課題